

◆文部科学大臣賞◆

〈社会教育部門〉

「PTAによるブログを活用した学校活動の情報発信
—開かれた学校を保護者の手で—」

鳥取県立倉吉東高等学校育友会

〒682-0812 鳥取県倉吉市下田中町801

■実践事例報告の概要

本校のホームページは、更新頻度が少なく、保護者の必要とする情報が提供されていなかった。そこで、学校活動に係る情報発信の担い手を保護者が行ってはと考えた。ブログによる情報発信が、学校と保護者や地域の人との情報の共有化を進め、信頼関係を高めることとなった。情報発信の作業は、学校のみが負う必要はなく、保護者が担ってもいい。先生の役割を教育活動に集中させ、校務の一部に保護者の力を有効活用すべきである。

実践のねらい

学校がその活動を多面的に展開し、保護者や地域の人から信頼と協力を得るためには、学校のさまざまな情報を積極的に発信していくことが必要である。ネットを活用することで、保護者や地域の人との情報の共有化が進み、学校の活動への参加が促され、地域の評価も高まることが期待される。

しかしながら、本校のホームページは、定期的な更新がままならず、保護者や地域の人が必要とする情報が掲載されていなかった。これは、情報の発信作業が、特定の先生に委ねられ、その業務が大きな負担となっていたためと考えられる。

そこで、学校活動に係る情報発信の担い手をPTA、主として保護者が行ってはと考えた。PTAという保護者と教職員が一体となった組織の強みを生かし、学校が保護者や地域の人と共有すべき情報の発信作業を特定の先生だけに任せるのではなく、地域に根ざした人材を活用する観点で、技能と熱意のある保護者がその担い手となってはどうだろうか。

PTAによるブログを活用した学校活動の情報発信を通じて、学校の情報発信のあり方を考えてい。

特徴・工夫・努力した点

- (1) ブログの構築には、保護者と学校の理解が必要と考え、まず、運営委員会に諮り、役員及び学校側の理解を求めた。さらに、評議員会を開催し、会員に説明し、賛同を得た。こうして、平成18年2月にPTAの総意によりブログがスタートした。
- (2) ブログには携帯電話からもアクセスできるようにした。現在のインターネットの利用形態から携帯電話でもアクセスできることは重要なことである。
- (3) ブログで掲載する多くの情報は、紙の文書で配布された学校から保護者へのお知らせであるが、テキストに加え、文書のイメージをそのまま掲載することにしている。子から親へ、親から子へと文書が渡ることで、相互のコミュニケーションを促すためにリアルなイメージを大切にしたいのである。

実践内容

ブログで発信し、共有する情報は、学校から保護者へ文書として配布されたものを基本としている。メールで送られてきた文書もあるが、基本的には、紙の文書をスキャナーで読み、画像ファイル

資料・文書で補えない情報の補完

学校行事「第42回強歩大会」支援について

「第42回強歩大会」が10月9日(金)に開催されます。育友会として応援を行いますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。また、「職員・保護者会同僚会」が同日開催されますが、懇親会などの参加も大歓迎ですので、多数のご参加お待ちしております。

平成19年9月20日

育友会会員各位

鳥取県立倉吉東高等学校
育友会会長 寺根 利村
学 校 長 藤 野 博

学校行事「第42回強歩大会」支援について

初校の後、会員の皆様におかれましては、益々ご好評のことと頂戴します。さて、本年度も学校行事であります強歩大会が実施されますが、通日の運営委員におきまして育友会としても積極的に支援を行うことを決断いたしました。つきましては詳細でございますが、会員の皆様には教材の調達の事前の申込み当日の開催などについて、随時ご協力いただけますようお願い申し上げます。

1 目的 大会参加の生徒に旅行費まで含み、元気づけ、支援する

2 場 所 歩行コースのハイハイ元気づけ(鳥取県倉吉市)及び 本校第1体育館前

3 日 程 10月9日(金) 9:00~17:00 教材運搬(東高5階)にて待機していただき、
10月9日(金) 19:00~20:00 仕込み(東高調理室)
10月10日(土) 8:30~ 発進集合(1行先集合)
9:00~11:00 調理
11:00~14:30 昼+昼寝
14:30~15:00 片付け+解散
18:00~ 帰省・保護者会同僚会
■ 平成19年度議員PTA本部科学大会表彰受賞祝賀会(全学大会)PTA本部、JF倉吉駅前、10月20(日)

強歩のコースは、こちらで確認下さい。

倉吉東高 第42回強歩大会 コース案内図 (2007.10.5)

をクリックすると
チェックポイントの写真表示
【第3関門】
あやの池体育館

最終到達時刻14:30

にするとともに、OCRにかけ、テキスト化している。また、学校から学校行事のスナップ写真とそれに係るコメントをメールで送っていただくこともある。

ブログへの掲載は、公募で集まった保護者4名のHP運営委員が行っている。

ブログに掲載する情報は、学校行事の様子、各学年通信、部活動の様子、大学入試に関すること、行事予定、PTA活動の様子、PTA会報などである。

ブログで掲載する情報の中には、文書では補えない情報を補完するために提供しているものもある。たとえば、本校の伝統行事に強歩大会があるが、ブログには、生徒が歩く総距離35kmのコース案内を写真入りで掲載した(資料)。また、生徒の表情もフォトアルバムとして提供している。活動の様子が非常にインパクトのある形で伝えることができた。

実践結果

保護者が中心となって、ブログに学校活動に係る情報を掲載することで、保護者視点の情報で、学校の取り組み、考え方がよく伝わり、学校と保護者との情報の共有化が進んだ。

保護者がこの役割を担うことで、更新頻度が多くなり、ニーズに合致した情報が発信されやすくなる一方、先生においては、素材の提供を行うのみで、情報の発信作業から解放され、これまで以上に授業の準備、生徒への学習指導等に時間を充

てることができた。

また、開かれた学校づくりという観点から地域や全国に向けた情報発信ができ、ブログで活動を紹介した「携帯電話でのフィルタリングについての取り組み」は文部科学省により全国紹介された。ブログへのアクセスは、現在、1日あたり約900件ある。

考察 (今後の課題)

ブログは、学校と保護者や地域の人との間の情報の共有化を進め、信頼関係を高めるために有効な手段である。情報共有化の作業は、学校のみがその役割を負う必要はなく、保護者が担ってほしいと考える。

昨今、先生にとって教育活動以外の校務が多く、忙しすぎると言われている。先生の役割を教育活動に集中させ、学校は、開かれた学校づくりのためにも校務の一部に保護者の力を有効に活用すべきである。

ブログの存在は、学校の公式サイト必要性を否定しているものではない。なぜなら、運営方針など教育活動の根幹に係る情報は、学校が自ら発信するべきだからである。

現在、ブログ上での意見交換はまだまだ少ない。今後は、SNS (Social Networking Service) なども取り込みながら、ブログを情報共有から情報交流の場に進化させたい。